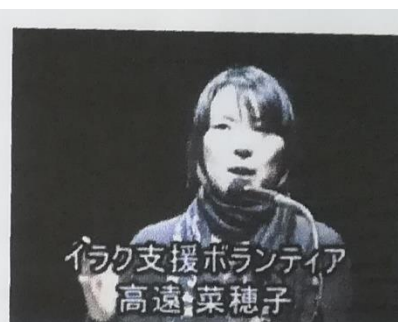


子ども・母に寄り添って、イラク人道支援

平和憲法が守ってくれました



「平和の国ジャパン」これが日本ブランドです



イラクもトルコも、中東は親日家が非常に多いです。老いも若きも、必ず言ってくるのは”ヒロシマ・ナガサキ”です。「アメリカにあんなに酷い目にあわされたのに、復興して経済成長した」と。

日本は平和の国であり、病院をつくるなど実際に顔の見える信頼関係を、日本と企業はつくってきました。私が最初いったとき『トヨタ!』と声がかかりました。憲法9条による国際貢献はもっとできるはずで

す。イラクはアメリカによって戦場になったわけで、反米感情は非常に強いです。「集団的自衛権」でアメリカと一緒にということになれば、間違いなく私は標的にされます。

9条を持って、国際社会に出ていってください

モスルの病院で私は、「アメリカ人医療グループ、病院内は安全だ。しかし、一步外へ出たら責任持てないよ」、「日本人スタッフなら、なんの問題もないのに」と、病院長に言われました。

そのくらい日本はブランド化しています。すごくもったいないです。他の国にないイメージ、信頼感。これを前面に押し出し、憲法9条を持って国際社会にどんどん出ていってください。

(「6.22 若者憲法集会 目黒」 講演・高遠菜穂子)

(6.22NHK ニュース、 『東京新聞』 6.23)